

地域の防犯設備士としての私

株式会社 ジャロック 取締役
一般社団法人埼玉県防犯設備士協会 会員
防犯設備士 第94-1845

牧野 文昭



この度は、「防犯設備」に寄稿させていただく機会を賜り誠にありがとうございます。私は、神奈川県の高重量サッシ取付業の会社に勤務しておりました。父親が平成2年7月に埼玉県与野市下落合に、セキュリティメンテナンス専門工事店として鍵と防犯のショールームをオープンしましたので、『安心を売るジャロック』のコンセプトである『住宅・建物の安心・安全』は、将来的には重要な時代になると思いましたので平成3年4月に入社致しました。

その後防犯設備士の資格の事を知りました。当時はまだ鍵の業界では数人しか受けておりませんでしたが、私も父親と一緒に受験し、1994年に資格を取得致しました。

仕事上では、サッシ業界・マンション管理会社・管理組合等の鍵の交換、オートロック等の交換を推進しながら、日本ロックセキュリティ協同組合の厚生労働大臣が認可する「社内技能検定（錠施工1級）」にも2007年8月に合格いたしました。

実際に空き巣の被害に遭われた方々から、今後の対策や防犯に対しての相談は毎日の様に有ります。空き巣被害に遭わない為にもCP錠の交換や補助錠の取付等々を進めています。

埼玉県ではさいたま市が区制に変わって、与野市はさいたま市中央区となりました。その頃から賃貸店舗の老朽化が激しく、いろいろと手頃な土地が無いかと探し求めていましたが、さいたま新都心近辺は150坪や300坪と大きい土地しか有りませんでしたが、2011年7月に付き合いのある銀行の紹介で、中央区の不動産屋さんに現在地の物件がありまして2013年3月に完成いたしました。これで益々

地域の安心で安全な街づくりに専念できるようになりました。



私は中央区での行事では、23年間警察の生活安全課と一緒に市民の方々に、防犯の意識の向上を訴えてきました。2009年11月に埼玉県浦和西警察署から地域防犯活動に対して表彰されました。

これからも防犯設備士の資格を大切に、また埼玉県防犯設備士協会の会員として、さいたま市民の安心で安全な街づくりの行事には積極的に参加して参ります。最近では、国立大学よりセキュリティの向上を目的に、一般錠から電気錠への交換を行ったり、公団住宅へのCP錠の補助錠の取付や1ドア2ロックを進めています。テンキーシステム・カードロック、また防犯カメラの設置等とセキュリティ対策も変化してきました。



防犯優良マンション及び防犯優良駐車場など、今後は埼玉県防犯設備士協会を通じて、建設会社様に防犯環境設計をご理解いただき、埼玉県防犯設備士協会の活動を発展させたいと思っております。

また、ハウスメーカーの方々や各自治会にも周知活動をして、そして活動が出来ている、様々な地域にて活躍されておられる組織との交流を高めて「総合防犯設備士」、「防犯設備士」を埼玉県民に認知されるよう私なりに努力していかなければと思います。

